

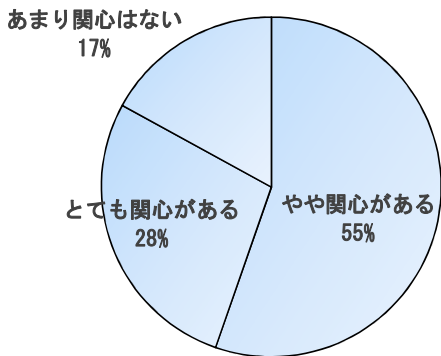
『企業における環境問題への取組みについて』

2022.3.15

企業の環境問題への取組みに関心がある方は約8割

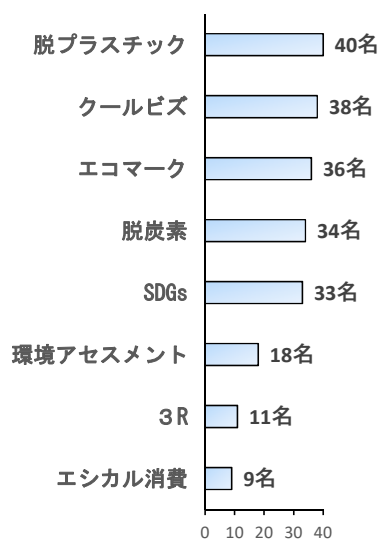
調査期間：3月4日(金)～9日(水)
 回答数：47名
 回答率：94%

Q1 環境問題について、関心はありますか？(単一回答)



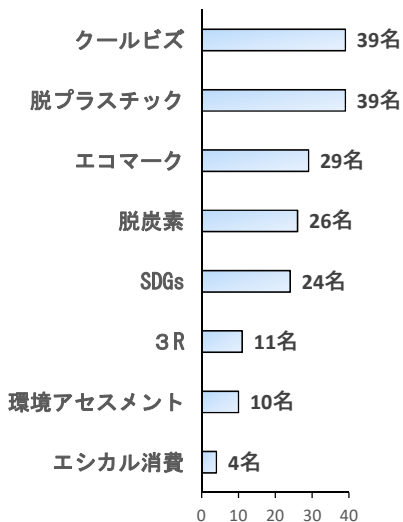
83%の方が関心を持っている。

Q2 以下の環境問題に関する用語について、聞いたことがあるものは何ですか？(複数回答可)

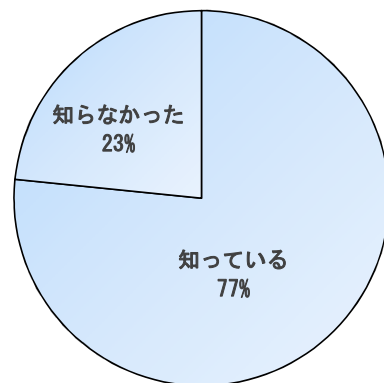


脱プラスチック、クールビズ、エコマーク、脱炭素と続いた。

Q3 以下の環境問題に関する用語について、言葉の意味を理解しているものは何ですか？(複数回答可)

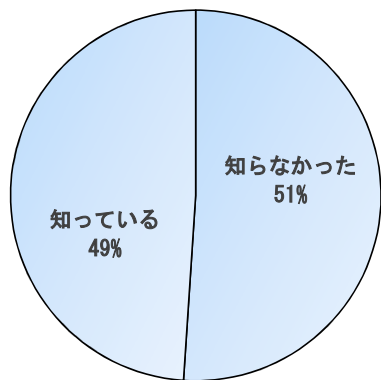


Q4 本年4月より、事業者にはフォークやスプーンなどプラスチック製品の有料化、代替素材への切り替えなど削減に向けた取組みが義務化されます。このことを知っていますか？(単一回答)



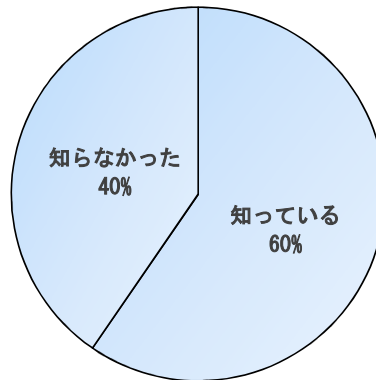
77%の方が知っている。

Q5 2015年にフランス・パリにて開催された 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)ではパリ協定が採択され、日本においてはGDPあたりのCO2排出量を2030年までに26%削減することが目標とされました。このことを知っていますか？(単一回答)



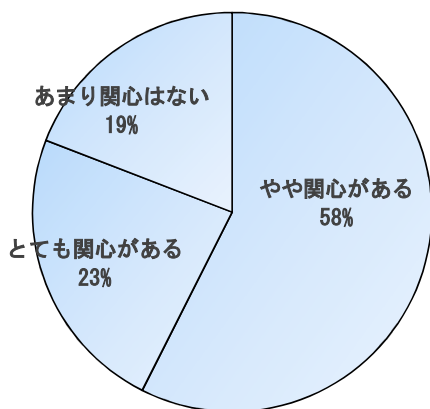
知っている方と知らない方の割合に差はほとんど見られない。

Q6 2020年10月、日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。このことを知っていますか？(単一回答)



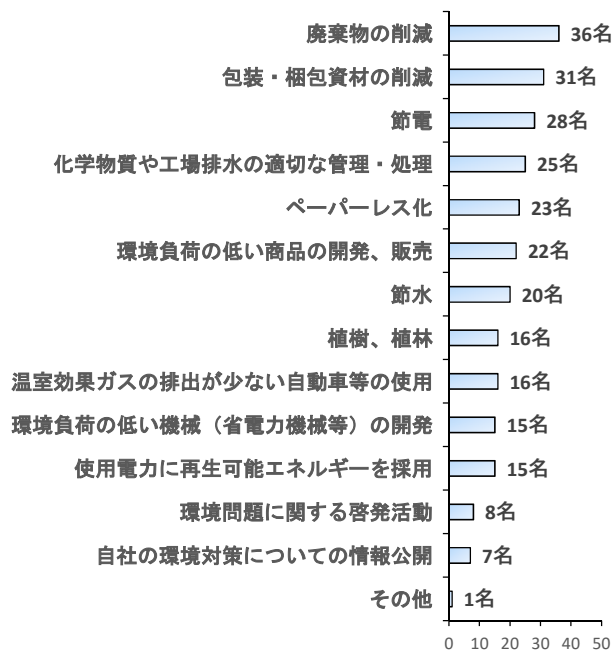
60%の方が知っている。

Q7 企業における環境問題への取り組みに関心はありますか？(単一回答)



関心がある方の合計は81%と、関心の高さがうかがえる。

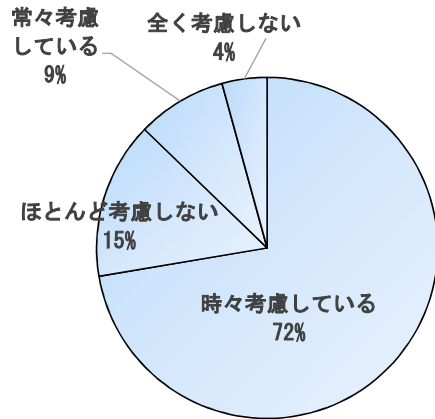
Q8 企業で取り組んでほしいこと、期待することは何ですか？(複数回答可)



廃棄物、包装・梱包資材の削減を期待している方が特に多い。

Q9

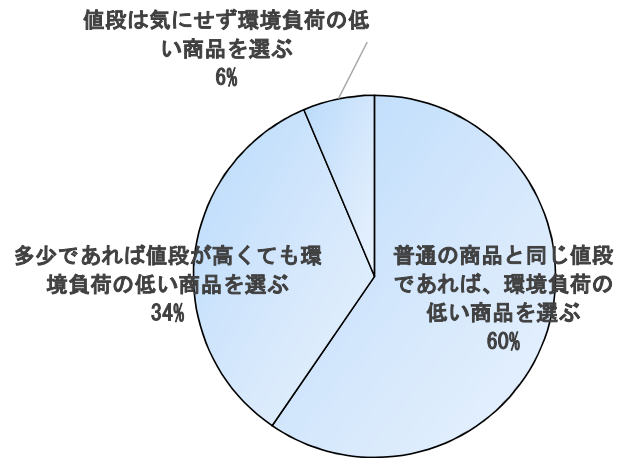
商品やサービスの購入を検討する際、環境負荷の低いものであるか考慮しますか？(単一回答)



「時々考慮している」が最多回答となった。常々考慮している方は9%であった。

Q10

環境負荷の低い商品やサービスの購入を検討する際、どの程度のコストアップであれば認められますか？(単一回答)



過半数の方は同じ値段の場合であれば購入すると回答。